

發行編輯人 川崎文治 福島縣石城郡平町字長橋町五番地 電話三三九番

印刷所 一〇活版所

定価 一月五元 半年二十五元 一年五十元 郵送料別

常盤新聞

刊夕日一月八

### 常磐文藝

美しき悪魔 K 生

お若い女達が通る  
惱しき彼女等の姿よ  
狂しき桃色の誘惑よ  
おたまらぬ俺の心  
はなやかな女達が通る  
皆笑ひこぼめいて  
うちすぎる  
おききれいな悪魔奴が  
俺を嘲つてゐるのだ  
俺を嘲つてゐるのだ  
俺の弱点を見ぬいて  
俺の心を弄弄しやうと  
してゐるのだ  
そして  
俺の惱める心を  
一層狂はせるのだ  
多勢の妖女奴が  
あはれな孤獨の俺を  
とりまいて  
衰弱してゐる俺の神経を  
一層悶え狂はすのだ  
おき又も  
チャームキングな魔女の  
なやましき肉のかほり  
おき一体俺は  
どうしたらいいのだらう  
(二九七、七三七)

### 看護婦派出の求めに應ず

平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

### 撮影會

一、八月三日午前九時平野  
集合  
一、四倉海岸 晴雨に不拘  
一、會費金一圓 復原車賃共  
カメラ愛好の士一日  
の清遊多數御賛同を  
乞ふ

### 光影會

### 無産者水道

社説 川崎文治

吾人は眞に社會政策に立脚して無産者と雖も易く専用線を敷設し得て心から水道の恩恵に隨喜する事の出来る方策の必要を切實に痛感するものである、然らば如何なる方法を以つて恵まれる無産者に對しての便宜を圖る事が妥當であらうか？此点が極めて問題であつて町經濟の許す範圍以外には足を一歩も外に踏み出す能はざるべきは勿論であるから充分攻究すべき餘地の存するは言を待たない次第であるが吾人は左の三ヶ條

山古印醬油

美味 經濟

元造 鹽屋本

店本屋鹽

番七二話電

### 印袷天

しるしはんでん

繁舖の萬言よりも  
華客の一言にあり

手拭、風呂敷  
消防被服  
刺子類一切

柏屋染物店  
柏傳刺子部  
平町材木町

### 逸獨高級眼鏡

(メニスカス)  
問、メニスレ  
ンズを何ん  
で皆さんが  
お好みにな  
るのですか  
「掛心地  
が良くて眼  
や脳へは絶  
對弊害がな  
く晴々する  
からです」

常盤屋  
時計店  
平町一丁目  
電話三三九番

件を町當局が容認する事に依つて始めて所期の目的に到達するであらう事を確信する、即ち三ヶ條條件とは

- 一、敷設料月賦分納の期間を延長する事
- 二、一割の利息を徴せざる事
- 三、水道本管より家並みの軒下迄(道路)の敷設區間は町の負擔と爲すべき事

であつて此事に依り負擔を軽減し得べきものとして飽迄主張するを憚らぬのである。右の三ヶ條は此處に諄々しく説明を試みる迄も現在の十箇月より以上に月賦

### 丸登株式会社

平町田町 電話三三二番  
川添房二郎

### 母よ!

愛兒のために

### マリンミルク

店約特 内の丸京東  
ヤトモツマ 社會子菓京東

### 町平 町星相 吉田眼科醫院

買イ好イ店 良侶ヲ安ク賣ル

クースーリ

関内藥舖  
藥劑師関内栄助  
電話四〇番

銘柄	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五三〇
平銀行	五〇〇	七一〇
磐越銀行	一一五	一〇五
磐城實業	五〇〇	四三〇
磐城實新	三〇〇	二九〇
田村實銀	一一五	一一五
四倉銀行	一七五	一七五
農工銀行	二〇〇	二四五
同 新	一五〇	一八八
百七銀行	五〇〇	五五〇
同 新	一一五	一六〇
七七銀行	一一五	九八
郡山電氣	五〇〇	三七〇
同 新	二五〇	一七〇
只見川電	一一五	六五
植田水電	一一五	一五五
好問水電	一一五	一三〇
磐城建物	一一五	五〇
磐城製菓	二〇〇	四〇
平信託	五〇〇	二五〇
磐城勸業	一一五	一三五
植田物産	三〇〇	二六〇
平製氷	二五〇	二三〇
好問軌道	五〇〇	三三〇
入山新	三二五	一七〇
小田炭礦	二五〇	六〇
磐城炭礦	五〇〇	四一〇
同 新	二二五	一八〇
磐城セメント	五〇〇	六四五
同 新	二五〇	三四五
平運送	一一五	八〇

### 發電所解決問題で

## 平町會殺氣立つ

罵しられた佐藤君が

ゴマ鹽頭を振立てて喚く

昨日の半町會で痛快味タツブリな波瀾の一幕が展開された、當日水道擴張工事の委員會が終つて午後四時半から本會議に移り擴張案を議して後伏見助役が例の大瀧發電所問題の解決案を説明したのであつたが平電氣重役の椅子を占めて居る佐藤庄太郎君が水源地再調査を力説し盛んに町當局に肉迫した爲め黙し兼ねた井上茂作君が

### 氷屋さん喜ぶ

向ふ鉢巻の忙さ

天候不順でどかく冷氣勝であつた平町地方も兩三日前から急に蒸し返す様な暑さになつたので風鈴の音涼し氣に飾りたてた氷屋の店が急に目立つて來たが六月末日迄に平署に願出た氷屋さんは四百五十軒で昨年比に決して少くないといふ平町の氷屋さんは右の内三割を占めて居る今迄は冷氣勝で失敗に終つたがこれから忙しくなるだらうとまつてゐる

### 頓死土工の死因が疑しい

其筋の眼が光る

石城郡錦村中田農川尻豊藏薄葉司敬加藤義一、瀬戸丑

太郎、助川與平の五名は同村蛭田橋改修人夫として廿九日午前七時頃より午前十一時頃中食の際木影に酒一升を飲酒し更に豊藏方に至りて二升を平内與平は俄

### 已が頭を棍棒で殴る

紅に染つて瀕死の状態

原因其他は取調中

石城郡夏井村大字上大越字岸前農鶴沼壽松(五)は本日午前七時頃家人の隙を窺へ自宅物置に至り棍棒様の物を以つて我れと我頭を強か殴り頭蓋骨を粉砕して悶倒瀕死の状態に陥つた爲め平署から林部長出張原因其他取調中

### 養子の自殺

家人と口論し自轉車に乗る

常磐線平草野間において昨午前三時頃平發下り急行列車の發進中を目懸けて飛び込み無残の即死を遂げたものあるを同五時頃線路巡回の工夫が発見し斯くも四倉分署に届け出たので同

### カテイラン

ワキガの手當法

ワキガを根治するには専門家によつて手術を受なければなりません、ワキガの人が局部を不潔にして置くことは、一層臭氣を増させるものですから、夏季におきましてはなほ更ら特に注意をしてよく洗ひ、そして

然卒倒同村篠原醫師をまねぎて應急手當を施したるも間もなく絶命した原因は腦充血とあるも疑はしき点あり植田署にては關係者一同を引致取調中である

### 同僚を傷け

三日間絶食に

て徘徊

石城郡内郷村磐城炭礦坑夫同郡江名町生れ坂本一枝は一日午前三時半頃平町を徘徊し居たる舉動不審の爲め持館巡查平署に引致取調べたる處同人は去月廿五日頭炭車運轉中過つて同僚を傷け治療金五十圓を強請する爲め到底居たたまれず逃走し二三日前から絶食同様にて諸方を徘徊して居た旨を申立てた

### 不平受付

投書歡迎

たが藤一は廿日午後四時頃家人と口論の末自轉車に飛び乗り無断で家出したので村人約卅名ばかりが之れを追跡して來たが暗夜の事とて見失ひ斯くの始末に及んだものであると云ふが尙ほ家庭に複雑な事情があるらしい模様である

### 淡島神社祭禮

平町字北目町淡島神社は二三兩日祭典を執行する

### 脂足の手當法

脂足も前に申上げました脂手と同じ理由でその手當もよくふいておかねばなりません、ワキガの人でなくとも、あせをかいたり蒸されたりすると悪臭をはなつておきます、それには臭みを消すためにより香水をつけておくこともたしなみの一つであります

### 高氣壓

の爲めに去つて終つた此低氣壓は一昨

### 壓迫

る事が出来る事が出た

### 体育研究

習

石城郡体育研究會第一回夏季講習會は來る廿一日から一週間磐中新校舎にて開催

### 理髮業休む

徒弟慰安に

平町理髮業組合にては明日徒弟慰安の爲め休業四倉海岸にて海水浴を催し一日の清遊を試みる由

### 平町上水道

## 擴張確定

廿五年は安心

平町上水道の擴張は昨報の如く委員會にて審議の結果縣補助を三割と豫算せるは幾多の例に徴し過大の傾ありとて二割に減じ水道使用料の増加を見積りたる外借入者を増額して豫備費を減じたが右委員會の修正案は滿場一致可決され茲に工費十萬三千九百九拾八圓を投する上水道の擴張案が確定した因に現在の水道は一萬八千三百人に給水しつゝあるが右擴張工事の完成と共に

### 魚問屋

殿下の御用

仰せ付らる

平町四丁目丸市屋松崎佐平ト印伊藤彌平兩魚問屋では今回攝政宮殿下同妃殿下の魚商人を仰せ付られた

平製氷値上 平製氷會社では廿九日から貫で十

錢の値上げを斷行し一貫目卅五錢にしたが賣れゆきに影響なくホク／＼してゐる

### 降雨がない

低氣壓が邪魔

石城地方に於ける變調な早天は向後正反對に急悪な天候が來はせぬかと一般に杞憂されて居る處であるが本縣測候所小名濱出張所所員の談によれば

### 今年の

早魃は全國的に原因は極度の高氣壓が充滿するにより是が消え去らぬ間は仕うしても降雨がない數日前七百廿と云ふ極

の筈であるが講師は本縣師範教諭佐川水三郎、警中教諭小野寛美兩氏外數名で科目は體操教練遊藝教授法体育理論である

### 石灰で毒探み

去る十五日植田署管内駐在巡查出暮不在を奇貨とし石城郡田人村某部落民十數名は石灰七八俵を同村内鮫川上流に投してマス十四尾維魚約十貫餘を捕獲したる事植田署に於て探知し目下關係者を取調中